

市町村  
紹介コーナー

田上町

[中越エリア]

ゆつたりとした時間が流れる  
癒やしの里 田上町

## CONTENTS

### ■特集

02 市町村紹介コーナー

田上町

04 発注者支援事業紹介

### ■センターINDEX

05 建設材料試験の豆知識

06 令和4年度研究助成事業 活動のご紹介

07 雪のことば・雪のころ

08 新潟の地酒巡り

雪椿酒造

～純米を極める～



Niigata Construction  
Technology Center

2023 新春号

# 新潟県 建設技術 センターだより



一般財団法人

新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18

TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854





# 田上町

Tagami

## 田上町のプロフィール

面積／31.71km<sup>2</sup>

人口／11,015人(令和4年10月末現在)

世帯数／4,222世帯(同上)

<http://www.town.tagami.niigata.jp/>

田上町は県都、新潟市の南東に位置し、山と田園、信濃川に囲まれた町。東側は森林地帯、西側は田園地帯そして信濃川、中央部に住宅地が広がります。町には280年以上の歴史がある「湯田上温泉」や、山頂付近で約3万株のあじさいが咲く「護摩堂山」など自然豊かな魅力・見どころがたくさんあります。産業では農業が盛んで、田上の自然の恵みを受けて育ったお米や梅、竹の子などが町自慢の特産品です。

新潟市内まで車で約40分、JRの駅が2つあるなど、都市部へのアクセスも良好です。さらに、令和2年には新潟市と田上町を結ぶバイパスも開通し、より便利になりました。また、バイパス沿いには「道の駅たがみ」もオープンしました。道の駅は、町の様々な情報、特産品や町の魅力発信の拠点として、町の賑わいの拠点となっています。

田上町は自然豊かな魅力や見どころに加えて、新たに賑わいの拠点が加わった、ゆったりとした時間が流れる癒やしの里です。





## 護摩堂山

標高274メートルの護摩堂山は町のシンボル。約40分で登ることができ、山頂からは蒲原平野の田園風景、信濃川、弥彦山、さらに晴れた日には佐渡島まで見渡すことができます。

山頂付近には約3万株のあじさいが咲き誇る「あじさい園」があり、初夏には青、ピンク、紫、白の色とりどりの花が訪れる皆さんを迎えてくれます。



## 湯田上温泉

護摩堂山中腹にある湯田上温泉は、開湯から280年以上の歴史ある温泉です。効能の高さから「薬師の湯」として古くから親しまれてきました。現在、4軒の旅館・ホテル、1軒の日帰り温泉施設「ごまどう湯っ多里館」で湯田上温泉を楽しむことができます。ぜひ、田上で癒やしのひとときをお過ごしください。



## 道の駅たがみを拠点に町巡り

田上町役場前、バイパス沿いに令和2年10月にオープンした「道の駅たがみ」。館内には新鮮な田上の旬の野菜や果物、地元のお店とのコラボ企画など、町の魅力を存分に堪能できる商品が並びます。地元食材を使った食堂なども設置されています。情報発信施設では、護摩堂山や豪農の館「椿寿荘(ちんじゅそう)」「(旧田巻邸)」など田上町の観光情報や町の情報を発信しています。道の駅たがみを拠点に、町内の様々な施設を巡ってみてはいかがでしょうか。



### 道の駅たがみ

【住所】南蒲原郡田上町大字原ヶ崎新田3072番地1

【電話】0256-47-0661

【休館日】ショップ・食堂：毎月第2火曜日、  
12月31日～1月2日

【営業時間】<ショップ>4月～11月 9:30～17:00、  
12月～3月 10:00～16:00  
<食堂>4月～11月 10:00～16:00、  
12月～3月 10:00～15:30

※情報発信 休憩施設棟は24時間ご利用いただけます。

## 田上町総合公園YOU・遊ランド



緑いっぱいの広大な敷地の中で、体を動かして遊べる総合公園。木製遊具が揃ったアスレチック広場や、BBQコーナーなどがあり、子どもも大人も楽しめる施設です。

【住所】南蒲原郡田上町大字羽生田乙851-6

【電話】0256-57-5945(管理棟)

【休館日】月曜日・火曜日(祝日の場合、翌日)、11月24日～3月31日

【営業時間】9:00～17:00

## 越後蒲原豪農の館 椿寿荘(旧田巻邸)



越後屈指の豪農として知られた田巻家(原田巻家)の離れ座敷として建てられた館。日本中の銘木を集めた寺院様式に枯山水の庭園が美しく、田上町指定文化財になっている建物です。

【住所】南蒲原郡田上町大字田上丁2402-8【電話】0256-57-2040

【休館日】毎週水曜日(10月～11月除く)、年末年始

【営業時間】9:00～16:00

【入場料】高校生以上400円、小中学生300円



## 403号 三条北道路 道路改良その2 工事

### 工事概要

現道の一般国道403号は、集中する交通のために慢性的な渋滞が発生し、様々な社会経済活動に支障をきたしています。このことから、新潟県では一般国道403号バイパス整備事業を進めています。そのうち三条地域振興局管内の一般国道403号バイパス整備事業の三条北バイパスは、南蒲原郡田上町羽生田から三条市塚野目までの延長8.3kmを整備する計画となっています。

当工事は、三条北バイパスにおける一級河川下条川左岸側の延長460m区間の道路改良工事です。なお、当工事は発注者指定型ICT活用工事（ICT土工）です。

### 工事内容

工事名 / 令和2年度 点国緊 第0036-04-03-02号  
403号 三条北道路 道路改良その2 工事

工期 / 令和2年8月～令和4年3月

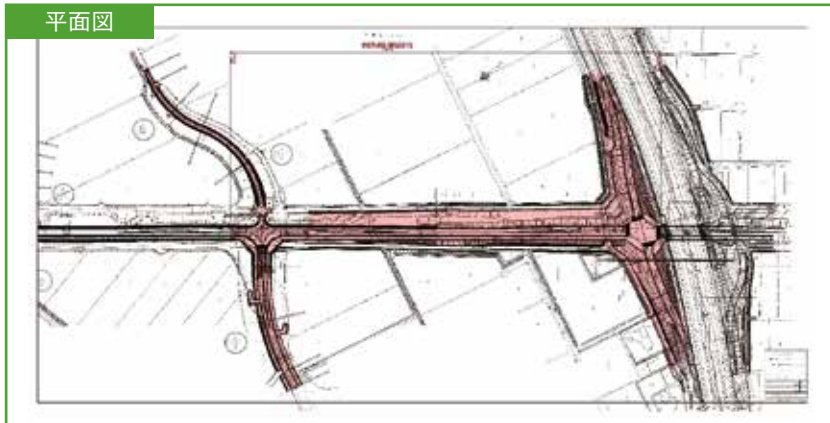
発注者 / 新潟県 三条地域振興局 地域整備部 道路課

工事内容 / (実)延長 460.7m 補強土壁工 896㎡  
(有効)幅員 6.5(12.3)m 下層路盤工 9,223㎡  
盛土工 16,088㎡ 側溝 887m

位置図



平面図



立会状況



着手前



竣工



### 現場技術者 から一言

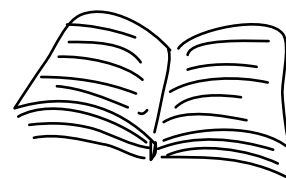
現場技術員 土田 純

当工事は工種・施工量ともに多く、比較的大規模な工事でした。なかでも、盛土量が多くICT活用工事であったことから、ICT土工の品質管理に特に留意し、施工状況を把握しました。近年は、受注者希望型だけでなく、当工事のような発注者指定型ICT活用工事も増えていることから、当工事での経験も踏まえてICTを十分理解し、適切に施工管理補助業務を行っていきたいと考えます。

三条北バイパスの早期供用開始のため、今後も微力ながら工事発注者様をサポートし、地域社会の発展に貢献できれば幸いです。



# 建設材料試験の豆知識



## アスファルト混合物の種類と特徴について

舗装工事の場合、コンクリート舗装とアスファルト舗装がありますが、一般的にアスファルト舗装が多く使用されています。今回は、この多く使用されているアスファルト混合物の種類・適用箇所・特徴を紹介致します。

### 1.アスファルト混合物の種類について

新潟県が公共工事に使用するアスファルト混合物は以下の通りとなります。

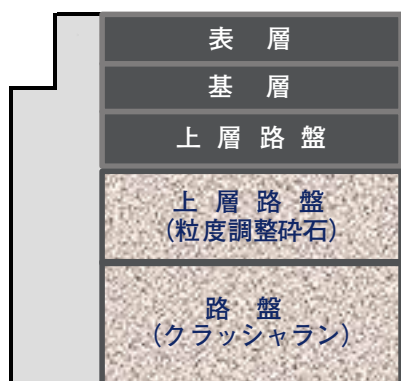
- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ① 瀝青安定処理 (25)          | ⑨ 密粒度アスコン (13F) B     |
| ② 粗粒度アスコン (20)         | ⑩ 密粒度アスコン (13FH) 改質Ⅱ型 |
| ⑤ 密粒度アスコン (新20FH)      | ⑫ 密粒度アスコン (13FH) 改質Ⅰ型 |
| ⑥ 密粒度アスコン (新20FH) 改質Ⅱ型 | ⑬ 細粒度アスコン (5F)        |
| ⑦ 密粒度アスコン (新20FH) 改質Ⅰ型 | ⑭ 細粒度アスコン (13F)       |
| ⑧ 密粒度アスコン (13)         | ⑮ 開粒度アスコン (13)        |

新潟県ではあらかじめ「アスファルト混合物事前審査」で認定された混合物の使用が原則となっています。



### 2.アスファルト混合物の適用箇所について

アスファルト混合物の適用箇所は以下の通りとなります。



- |       |                                                                                                                    |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 表層    | ⑤ 密粒度アスコン (新20FH)<br>⑥ 密粒度アスコン (新20FH) 改質Ⅱ型<br>⑦ 密粒度アスコン (新20FH) 改質Ⅰ型                                              |
| 表層の補修 | ⑤の補修 ⇒ ⑨ 密粒度アスコン (13F) B<br>⑥の補修 ⇒ ⑩ 密粒度アスコン (13FH) 改質Ⅱ型<br>⑦の補修 ⇒ ⑫ 密粒度アスコン (13FH) 改質Ⅰ型                           |
| 基層    | ② 粗粒度アスコン (20)                                                                                                     |
| 上層路盤  | ① 瀝青安定処理 (25)                                                                                                      |
| その他   | ⑧ 密粒度アスコン (13) … 中間層 (コンクリート舗装)<br>⑬ 細粒度アスコン (5F) … 表面処理・薄層補修・アスカープ<br>⑭ 細粒度アスコン (13F)<br>⑮ 開粒度アスコン (13) … 歩道 (透水) |

⑨は歩道・取付道路にも使います。

### 3.アスファルト混合物の特徴について

アスファルト混合物の特徴については以下の事が言われております。

( )の数値は最大粒径を、Fはフィラーを多く使用している事をしめています。  
また、Hは耐摩耗性を考慮した北陸型合材となっています。

最大粒径20mmと13mmを比較すると



・20mmの方が一般に耐流動、耐摩耗、すべり抵抗性などの性質に優れています。  
・施工厚さが40mm以下の場合、13mmの方が仕上がりのきめが均質となりやすいです。

F付きの混合物



・耐摩耗性・耐久性に優れたものが多いが、細粒分が多いため耐流動性に欠ける傾向があります。

それぞれの混合物の一般的な性質は以下の通りです。

- ⑨密粒度アスコン (13F) B …… 耐摩耗性に優れています。
- ⑤⑥⑦密粒度アスコン (新20FH) …… 耐摩耗性に加え、すべり抵抗性と耐流動性にも優れています。
- ⑩⑫密粒度アスコン (13FH)

## 令和4年度 研究助成事業 活動のご紹介

### 南魚沼環境・野外教育研究会

#### 「学びの里山」整備がハード面もソフト面も 順調に進んでいます

古いため池を囲むようにブナ、ナラ、ホオノキ林がある里山を、環境・野外教育の「学びの場」として整備する活動を展開しています。外周道路、小径、木橋・木道、広場などが整いはじめ、生息する動植物の調査も進み、基本となるルートマップ図と案内看板を作成しています。「学びの里山」が団体や学校の自然体験教室などに利用されはじめ、少し、ほっとしています。



小径づくりのための刈払い作業



天池(古いため池)でのカヌー体験教室



自然教室

### 新潟工科大学 建築・都市環境学系

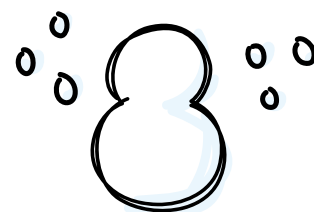
#### 柏崎市中通地区(農村集落)を対象とした地域活性化 ～関係人口を取り込んで～

柏崎市郊外にある中通地区を対象として、関係人口を取り入れた地域活性化を検討するために、新潟工大・都市計画研究室を中心としたメンバーでチームをつくり、地域に入り地域の皆様と一緒に活動しています。

これまで基幹産業である農業と地域の現状について地域の皆様からお話を伺いながら、現地調査を行い、各種のイベントにも積極的に参加してきました。また様々な専門家の講演を聞き、関係人口や地域の入り方などを学んでいます。



# 雪のことは・雪のころ



## 雪氷防災研究講演会

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

私どもの研究所では、毎年11月ごろに雪氷防災研究講演会を開催し、各方面の方からご講演をいただいています。2022年は11月15日に開催いたしました。コロナ禍のため全面オンラインとしましたが、2021年冬期に里雪の大雪、2022年冬期には山雪の大雪と大きな被害となった新潟県上越地域のキーマンにご講演いただきました。

2022年度  
**雪氷防災研究講演会**  
最近の大震災とその対応  
—新潟県上越地方での取り組み—

講演  
「最近の雪氷災害の特徴と  
防災科学技術研究所雪氷防災研究センターでの取り組み」  
防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長 中村一樹

「上越市における最近の大震災とその対応」  
上越市道路課雪対策室長 名倉 浩

「妙高市における最近の大震災とその対応」  
妙高市総務課長 吉越 裕也

「上越地域における新潟県が管理する道路の大震災の概要とその対応」  
新潟県上越地域振興局地域整備部維持管理課長 沼屋 賢一

「一昨年と昨冬の大震災の記録を残して活かすには」  
防災科学技術研究所雪氷防災研究センター特任客員 上石 勲

意見交換  
上越地方から全国の雪国への発信・東京への発信

2022年  
11/15(水)  
15:00~17:00

オンライン開催  
(ZoomまたはTeams) にも対応  
事前申込制・参加無料  
定員:50名

下記フォームからお申込みいただけます。  
(<https://forms.gle/TntmJKzL8fRMPv9>)  
※お申し込みメールで参加方法を案内いたします。

申込締切:11月10日(木)  
ただし定員に達した場合は締切前でも受付中止いたします。  
最新の情報等は雪氷防災研究センターHPでもご確認ください。

主催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所  
後援：(公財)日本警備中央会 新潟県庁、(公財)新潟県立上越観光局  
協賛：(公財)新潟県観光局、(公財)新潟県建設局、(公財)新潟県防災センター  
〒951-8501 新潟県新潟市中央区 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター  
TEL：025-326-4100 FAX：025-326-4101  
URL： <https://www.nisrri.go.jp/snow/>

当方の中村センター長からセンターの取り組みを紹介させていただいた後、上越市道路課雪対策室長の名倉様から、上越市の海岸部で大雪となった2021年冬期の大震災の惨状と、今後の除雪に関するご講演をいただき、各所で車両のスタックや除雪困難が発生し、公共交通も大きな影響を受けたことが発表されました。今後の対応策として、市の体制づくりや地域住民による道路除雪への支援、住民への適切な情報発信があるとの発表をいただきました。

特に異常降雪時には、気象状況や道路状況を勘案し、除雪時間帯によらない除雪の実施を行なうなど、多くの工夫されたご提案がなされました。

妙高市総務課長の吉越様からは、2021年冬期と2022年冬期の雪の降り方が異なり、2021年は標高の比較的低い地域で大雪となり災害救助法が適用され、2022年は特に標高の高い地域で4m近い大雪となり、新潟県の条例が適用となったこと、多くの家屋が被害を受けたこと、雪処理の要援助世帯が多数あったことが報告されました。

新潟県上越地域振興局地域整備部維持管理課長の沼屋様からは、2021年冬期には、普段雪がそれほど降らない海岸・平野部で大雪となり、1月初めの24時間で1m以上の降雪となった時には、新潟県管理の道路交通や歩道の通行にも大きな影響を受けたことが報告されました。そのたいへんな状況の中、交通誘導による大規模渋滞の回避や雪捨て場への路線の優先除雪、上越市との除雪の相互協力など、いろいろな工夫がなされたことなどの報告がなされました。今後、このような対応の継続と、関係者との情報交換、タイムラインの作成などに取り組みされていられるそうです。

最後に私の方から、「上越地方から全国の雪国への発信、東京への発信」ということで意見交換がなされ、「こんなに雪が降ってもうまく対応できて自慢できること」と「こんなに雪が降って大変だったこと」の具体的な点を残して整理し、さらに発信していこうとの意見を集約していきました。また、オンライン参加の方々からも多数のご意見をいただきました。降雪前のお忙しい時に貴重なお話をいただいた講演者の方々に深く感謝申し上げます。

講演会の様子はYouTubeでも公開予定ですので、ご覧ください。

[https://www.youtube.com/watch?v=ibi\\_xQbrhcY](https://www.youtube.com/watch?v=ibi_xQbrhcY)



特集

vol.24

# 新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。  
そのおいしさの秘密を紹介します。

加茂市の酒蔵

## 雪椿酒造

～純米を極める～

雪国の厳しい冬に耐え、雪解けとともに咲く「雪椿」。当社の酒造りに対する姿勢もこうありたいと願い、酒名の「越乃雪椿」はここから名づけました。昔ながらの手造りにこだわった新潟の【純米蔵】です。



杜氏  
飯塚 泰一



1.【Grand-Cuvée グランキューベ】無加圧、無濾過の純米大吟醸原酒を直詰めした一期一会のしぼりたて。お米本来の旨みときめ細かい繊細さ、マスカットのような瑞々しい香りが優美に広がる逸品です。 2.【雪椿酵母仕込】加茂山公園の雪椿の花から酵母を採取し、その酵母で醸造した純米吟醸酒です。雪椿酵母のフレッシュで華やかな香りと爽やかでしまりのある味わいが特徴です。 3.【純米吟醸 花】低温発酵によるきめ細やかな旨みと華やかな香りが冴える味わいの定番の純米吟醸酒です。



雪椿酒造株式会社  
〒959-1351  
新潟県加茂市仲町3番14号  
TEL.0256-53-2700  
FAX.0256-52-0291  
<https://www.yukitsubaki.co.jp/>

### 幸せな気持ちで造れば、より美味しいお酒ができる

創業は1806年(文化3年)、加茂町(現、加茂市)で丸若酒造として酒造りを始めました。「雪椿」は、1967年(昭和42年)「雪椿」が県の木に指定されたことを記念して名づけられたものです。

加茂市は新潟県のほぼ中央に位置し、由緒ある神社や寺院の多い美しい街並みは「北越の小京都」と呼ばれています。また、雪椿酒造に隣接する加茂山公園は、県の木であり、加茂市の花である「雪椿」が自生群生します。厳しい冬に耐え、春には美しい花が咲く「雪椿」のひたむきな姿を、雪椿酒造の酒造りの理想としたいという思いが込められております。

創業以来、小規模で丁寧な昔ながらの手造りの技を守り、2011年からは高品質の純米酒、純米吟醸酒、純米大吟醸酒に限定した【純米蔵】として酒造りを行っています。

醸造アルコール添加を行わない純米酒は、米の旨みがしっかりと感じられ、蔵の個性が出やすいと言われております。

「幸せな気持ちで造れば、より美味しいお酒ができる」をモットーに、旨みのある、飲み飽きしない、造り手の思いの詰まった酒造りをしています。

### 地域に寄り添う酒造り

雪椿酒造の蔵のすぐ裏手にある自然豊かな加茂山公園の「雪椿」の花から採取した酵母を使用したオリジナリティあふれる、地域に寄り添う酒造りにもチャレンジしています。

この酵母は東京農工大学の協力により約3年間という長い時間をかけて、ようやく分離に成功した唯一無二の酵母です。爽やかな香りとはつらつとした酸味が特徴のお酒となっています。

これからも良き歴史を継承しながら、新たな変化を取り入れた酒造りを続けて参ります。

### 編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

この新春号では、田上町様からのご寄稿や雪椿酒造(株)様からの新潟の地酒巡りなどをご紹介させて頂きました。ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。

令和5年スタートいたしました。今年も「信用・信頼」をモットーに新潟県の地域づくりに寄与できるよう誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様からの温かいご支援、ご指導をお願いいたします。

編集委員 技術部 西條 愛菜

